

# 利根別原生林 ガイドマップ



## HOKKAIDO TONEBETSU GUIDE MAP

### 交通のご案内



- ①札幌から高速で40分
- ②旭川から高速で80分
- ③千歳から60分



発行：岩見沢市  
問合せ：利根別原生林ウォーキングセンター

## 利根別原生林の概要

広大な石狩平野の東の端に位置し、遠く夕張山系・増毛連山が展望できる都市近郊の自然休養林として特に優れた森林のひとつで、約400haの国有林の随所に開拓の初めうろつとされた森が未だに残っています。

1972年(昭和47年)4月に利根別国有林から利根別自然休養林として指定されました。全域が水源涵養保安林、保健保安林及び鳥獣保護区となっており、約100種類以上の広葉樹の天然林や約350種以上の下層植物、1年を通じて40種類以上の野鳥が観察できる、学術的にも非常に価値の高い場所です。

この原始の林の優れた自然環境を後世まで保全することを願い、名称を「利根別原生林」としています。

一人でも多くの方々にこの自然を堪能していただくため、遊歩道の整備を行い、原生林を訪れる方の活動拠点としてウォーキングセンターを設けています。



## 大正池の歴史

岩見沢市内の南利根別川上流に位置する大正池は、農業用水の貴重な水源として1914年(大正3年)に完成しました。

大正池はその後1974年(昭和49年)に大規模な改修を行い、約1世紀にわたり貯水機能を發揮してきました。2010年(平成22年)に堤体の一部が陥没しましたが、2023年(令和5年)に新たな堤体が完成し、現在の形状となっています。

大正池は、修景池として地域の貴重な資産となっています。



## 利根別原生林のはたらき

利根別原生林には、たくさんの鳥を初め、虫や草花、樹木がいきいきと生息しています。こうした豊かな自然が、空気をきれいにし、私たちが出した二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防ぐとともに、きれいな水をつくり、私たちが食べる農産物を育てるのに役立っています。

また、春は新緑、秋は紅葉、冬には樹々の枝に雪の華が咲くなど、四季を通じて多くの人が健康や、安らぎを享受できる憩いの場となっています。

## 森のミニ知識

### バードコール



野鳥のさえずりのような音を発し、その音を聞いた鳥を呼び寄せる道具であるバードコール。よく乾燥した木片や小枝と金属のボルトがあれば簡単に作れます。木材はできるだけ固い素材を選び、ボルトのネジの直径よりやや小さめの穴をあけます。穴にボルトのネジをねじ込んだり、緩めたりするときに発する「キュッキュ」と軋む音が鳥の鳴き声に似ています。

### 動物の足跡 (アニマルトラック)



冬になると、雪の上に様々な動物の足跡が見られます。雪上歩行器具であるスノーシューを履いて、それらの足跡をたどっていくには、ひよっとしたら足跡の主に会えるかもしれません。原生林の中で様々な動物が生活しているということが実感できます。

### 動物を探そう



ミヤマカラスアゲハ ミヤマクワガタ エゾアカガエル

草木や地面をじっくり観察してみると、小さな昆虫などの生物に出会えるでしょう。花の季節には鮮やかな羽の色をした蝶が蜜を吸いにやってきます。少し早起して林の中でカエデやミズナなどの樹液が流れ出ている木を観察してみましょう。

### 野鳥の暮らしの跡

利根別原生林では鳥の餌食の跡を見ることが出来ます。原生林の中には多くの野鳥が暮らしています。野鳥の姿を観察するだけではなく、暮らしの痕跡を探すバードウォッチングはいかがですか。また野鳥の巣は外敵に見つからないように作られています。秋になり落葉が進むと、外敵から樹木の枝の間に小枝や草で組んだ巣を見つけやすくなります。



## ケガをしたら

### 切り傷などで出血しているとき

- 傷が土砂などで汚れているときはなるべくきれいな水で十分に洗い流しましょう。
- 出血が多い場合は清潔なガーゼや布でやや強く押さ止血しましょう。
- 骨折がないことを確認した上で、傷口は心臓よりも高くしましょう。
- じかに血液に触れないよう、ビニール・ゴム手袋などを利用しましょう。



### 骨折しているとき

- 出血しているときはその手当をしましょう。
  - 負傷した箇所はあまり動かさないでください。
  - 氷あるいは冷温布などを利用してハレや痛みをやわらけてください。
  - 可能であれば、添え木を当て、骨折部分の上下を固定します。
  - さらに腕の場合は三角巾などで固定します。
- ※添え木は、棒や板、傘やダンボールなどで代用できます。

## 冬の楽しみ方

利根別原生林では、冬も様々な遊びが楽しめます。

### スノーシューでの散策



スノーシューを使って、散策をしながら、冬の原生林の自然観察や動物観察、動物の足跡探索が楽しめます。

### クロスカントリー



散策の上級者の方は、散策路を使ったクロスカントリースキーが楽しめます。

### 雪上遊び



多目的広場や堤体下流園地では、イグルーづくりや雪合戦、スノーチューブ滑り、雪上キャンプが楽しめます。

## 注意しよう！

### ヒグマに注意

多くのヒグマは人間を避けて行動します。事故の多くはヒグマが人間の存在に気づかず至近距離で遭遇する場合に発生します。そのため声を出したり、手をたたく、また鈴や笛で音を立てて、遠くからでも人間の存在がわかるように心がけて行動しましょう。

また、単独行動を控え、数人のグループで行動することにより、足音や会話などでヒグマが人間の存在に気づきやすくなります。

ヒグマ出没情報をウォーキングセンターの掲示板や市のホームページで確認しましょう。



### ダニは肌の露出を控える

ダニは笹藪に多く生息します。長そでと長ズボンを用いるなど、なるべく肌の露出を控えましょう。体につくとしばらくは這いまわり、すぐには刺しませんが、時々同行者と点検することをおすすめします。

### ゴミは持ち帰る

食べ残しのお弁当やおやつは、ヒグマのエサになる可能性があります。ヒグマが人間の食べ物の味を覚えると、ゴミ置き場や人間によって来るようになる危険性があります。自分だけでなく、あとに利用する人のことも考えてゴミは必ず持ち帰りましょう。



### ハチは刺されると命の危険も

ハチの中でもスズメバチは攻撃性が高く危険です。ハチは黒い色に攻撃性を持つと言われていいますので、なるべく明るい色の服を着ましょう。巣に近づくと大変危険です。すぐにその場を去りましょう。スズメバチが周りを飛んでいるときは決して急な動きをしたり、手で払いのけたりしないでください。攻撃されたら即座で戻ってることがあります。



### 生水を飲まない

キツネは、フンを通してエキノコックスという寄生虫を媒介する動物です。生水を飲んだり、低い所に生えている実などを食べないようにしましょう。



## ルールについて

### 原生林のルール

- 動植物を大切にしましょう。
- 喫煙・火遊びはやめましょう。
- 自転車やオートバイでの乗り入れはやめましょう。
- 散策路以外の場所を歩かないようにしましょう。
- マダニやハチ、ツツアリなどに注意しましょう。
- クマやキツネに注意しましょう。
- 暗くなったら池に近づかないようにしましょう。
- 施設は大切にしましょう。
- 営業時期の野鳥には近づかないようにしましょう。



### キャンプのルール

- 利用者名簿に記載しましょう。
- 火気は決められた場所で利用しましょう。
- 残り火は各自で持ち帰りましょう。
- 風の強い日に火を使うのは避けましょう。
- 生ごみは必ず持ち帰りましょう。
- 決まった場所以外ではテント等を張らないようにしましょう。



### プレーパークのルール

- 活動する際には事前申し込みをしましょう。
- 指定された活動場所以外での利用はやめましょう。
- 他の公園での活動と同様に、活動中の事故等における責任は主催者となります。



※プレーパークの活動内容などについては、ウォーキングセンターで確認できます。

## 利根別原生林ウォーキングセンター



利根別原生林を利用される方の案内所として林内の動植物や各種観察会の情報提供のほか、学習会や休憩の場として、どなたでも無料で利用することができます。

住所：岩見沢市緑が丘73番地2

時間：9:00～17:00

(夏季：4月21日～10月31日)

休館日：月曜日

(月曜日が前日の場合はその翌日)

電話番号：0126-32-2488

### 設備

- インフォメーションコーナー
- ロビー
- スタディコーナー
- レストコーナー
- トイレ



